【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公開番号】特開2013-99689(P2013-99689A)
【公開日】平成25年5月23日(2013.5.23)
【年通号数】公開・登録公報2013-026
【出願番号】特願2013-46124(P2013-46124)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３４４

【手続補正書】
【提出日】平成25年4月26日(2013.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
多量のパチンコ玉を貯留するベースタンクとの間でパチンコ玉のやり取りを行う主パチンコ島台と、該主パチンコ島台との間でパチンコ玉のやり取りを行う従パチンコ島台と、から構成される島台ブロックを、前記ベースタンクを挟んで複数配置し、その複数の島台ブロックの各島台ブロックにおける前記ベースタンクと主パチンコ島台と従パチンコ島台との間で相互にパチンコ玉のやり取りを行う島交流式玉移送装置において、
前記ベースタンクは、前記複数の島台ブロックのうち第一の島台ブロックを構成する第一の主パチンコ島台と、第二の島台ブロックを構成する第二の主パチンコ島台との間に配置されると共に、当該ベースタンクの玉貯留空間内には、該玉貯留空間を、前記第一の島台ブロックで使用される第一のパチンコ玉を貯留する第一の玉貯留空間と、前記第二の島台ブロックで使用される第二のパチンコ玉を貯留する第二の玉貯留空間と、に分割する仕切手段が設けられ、
さらに前記ベースタンクは、前記玉貯留空間が直方体状に形成されると共に、該玉貯留空間の底面が当該ベースタンクの長手方向の両端からそれぞれ中央に向って下り傾斜して形成されるとともに、その中央傾斜底面に前記第一の玉貯留空間に貯留された前記第一のパチンコ玉を前記第一の主パチンコ島台に流入させる第一の流入樋と前記第二の玉貯留空間に貯留された前記第二のパチンコ玉を前記第二の主パチンコ島台に流入させる第二の流入樋とが連通され、
前記仕切手段は、前記ベースタンクの長手方向のほぼ中央に当該ベースタンクの長手方向と直交するように配置されることで、前記第一の玉貯留空間に貯留される前記第一のパチンコ玉と前記第二の玉貯留空間に貯留される前記第二のパチンコ玉とが混在しないように前記玉貯留空間を前記第一の玉貯留空間と前記第二の玉貯留空間とに左右２分割することを特徴とする島交流式玉移送装置。
【請求項２】
前記ベースタンクの前記中央傾斜底面には、該ベースタンクの長手方向と直交する方向の中央から両端に向かって個々に下り傾斜する前記第一の流入樋と連通する第一の樋部と前記第二の流入樋と連通する第二の樋部とが凹状に形成されていることを特徴とする請求項１記載の島交流式玉移送装置。
【請求項３】

前記仕切手段は、前記第一樋部と前記第二樋部の凹状の深さ寸法とほぼ同じ寸法の流入樋仕切部を備え、該流入樋仕切部を前記第一の樋部と前記第二の樋部の境界部分に挿入した状態で前記玉貯留空間内に取り付けられていることを特徴とする請求項２記載の島交流式玉移送装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の詳細な説明】
【発明の名称】島交流式玉移送装置
【技術分野】
【０００１】
本発明は、多量のパチンコ玉を貯留するベースタンクとの間でパチンコ玉のやり取りを行う主パチンコ島台と、該主パチンコ島台との間でパチンコ玉のやり取りを行う従パチンコ島台と、から構成される島台ブロックを、前記ベースタンクを挟んで複数配置し、その複数の島台ブロックの各島台ブロックにおける前記ベースタンクと主パチンコ島台と従パチンコ島台との間で相互にパチンコ玉のやり取りを行う島交流式玉移送装置に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来、複数のパチンコ島台を１つの島台ブロックとして各上部タンク間に交流樋を差し渡すことで、各パチンコ島台間でパチンコ玉のやり取りを行うようにした島交流方式という玉移送装置が知られている。このような島交流式玉移送装置においては、本出願人が先に提案した特許文献１に開示されるように、多量のパチンコ玉を貯留するベースタンクを設けると共に、ベースタンクに隣接して該ベースタンクとの間でパチンコ玉のやり取りを行う主パチンコ島台と、該主パチンコ島台との間でパチンコ玉のやり取りを行う従パチンコ島台と、から島台ブロックを構成するものがある。この構成では、主パチンコ島台又は従パチンコ島台でパチンコ玉が不足気味の場合は、ベースタンク内のパチンコ玉を主パチンコ島台乃至従パチンコ島台に供給する一方、主パチンコ島台又は従パチンコ島台でパチンコ玉が溢れ気味の場合は、主パチンコ島台又は従パチンコ島台で溢れたパチンコ玉をベースタンクに返却することで、主パチンコ島台及び従パチンコ島台に貯留されるパチンコ玉の玉量を常に過不足のない状態に維持するようになっている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０００－４２２３５号公報（図１）
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
近年においては、遊技者側のニーズに応じて、貸玉料金が４円／個となる通常遊技での営業形態に加え、貸玉料金が１円／個となる遊技（俗に、「イチパチ遊技」と称されている。）での営業形態をとる遊技場が徐々に増えつつある。通常遊技及びイチパチ遊技の２種類の営業形態をとる遊技場では、各営業形態毎で異なるパチンコ玉の価値が一目で区別できるように、パチンコ玉の色を異ならせるような対策をとっている。具体的には、貸玉料金が４円／個となる通常遊技用のパチンコ島台では、金色のパチンコ玉（以下、これを「金玉」ともいう）を使用する一方、貸玉料金が１円／個となるイチパチ遊技用のパチンコ島台では、銀色のパチンコ玉（以下、これを「銀玉」ともいう）を使用する。なお、２種類の異なるパチンコ玉を使用する場合、島台単位で１種類のパチンコ玉を循環使用する

構成から、１つのパチンコ島台に設置される複数のパチンコ機は、必然的に営業形態が通常遊技又はイチパチ遊技のいずれか一方に統一される。

【０００５】

ところで、上記した２種類の異なるパチンコ玉を使用することを前提として島交流式玉移送装置を採用しようとすると、２種類の異なるパチンコ玉（金玉と銀玉）が混在しないようにする必要があり、従来の島交流式玉移送装置をそのまま用いることはできない。例えば、図９（Ａ）に示す従来の島交流式玉移送装置では、複数列設されたパチンコ島台Ｃ１～Ｃ７のうち、パチンコ島台Ｃ２，Ｃ３間とパチンコ島台Ｃ６，Ｃ７間とにそれぞれベースタンクＴ１，Ｔ２を配置することで、パチンコ島台Ｃ２，Ｃ３，Ｃ６，Ｃ７をそれぞれベースタンクＴ１，Ｔ２に隣接された主パチンコ島台とする一方、ベースタンクＴ１，Ｔ２に隣接されないパチンコ島台Ｃ１，Ｃ４，Ｃ５をそれぞれ従パチンコ島台とする。そして、主パチンコ島台Ｃ２と従パチンコ島台Ｃ１とで一つの島台ブロックを構成し、同様に、主パチンコ島台Ｃ３と従パチンコ島台Ｃ４とで、主パチンコ島台Ｃ６と従パチンコ島台Ｃ５とで、それぞれ一つの島台ブロックを構成していると共に、ベースタンクＴ１と一つの島台ブロックＣ２，Ｃ１との間、ベースタンクＴ１と他の一つの島台ブロックＣ３，Ｃ４との間、ベースタンクＴ２とさらに他の一つの島台ブロックＣ６，Ｃ５との間、隣り合う島台ブロックＣ３，Ｃ４と島台ブロックＣ６，Ｃ５のうちの従パチンコ島台Ｃ４とＣ５との間、にそれぞれパチンコ玉搬送用の樋を設けることで、パチンコ玉を各パチンコ島台Ｃ１～Ｃ７間で移送循環使用する。このように従来の島交流式玉移送装置では、すべてのパチンコ島台Ｃ１～Ｃ７でパチンコ玉が移送循環使用されているが、これは同質のパチンコ玉を使用しているから採用できる構成である。

【０００６】

図９（Ａ）に示す構成において、パチンコ島台Ｃ１，Ｃ２をイチパチ遊技用のパチンコ島台、言い換えれば銀玉を使用するパチンコ島台とする一方、パチンコ島台Ｃ３～Ｃ７を通常遊技用のパチンコ島台、言い換えれば金玉を使用するパチンコ島台として上記した従来の島交流式玉移送装置をそのまま採用すると、一つの島台ブロックを構成するパチンコ島台Ｃ１，Ｃ２で使用される銀玉がベースタンクＴ１に返却される場合と、他の一つの島台ブロックを構成するパチンコ島台Ｃ３，Ｃ４で使用される金玉がベースタンクＴ１に返却される場合とが生じてしまい、ベースタンクＴ１内に金玉と銀玉とが混在してしまう。また、ベースタンクＴ２についても、ベースタンクＴ１内に混在した銀玉がパチンコ島台Ｃ３側に供給されてしまい、その後、パチンコ島台Ｃ４～Ｃ６を介してベースタンクＴ２内に返却されることで、金玉と銀玉とが混在してしまう。

【０００７】

そこで、図９（Ｂ）に示すように、イチパチ遊技用（銀玉コーナー）の主パチンコ島台となるパチンコ島台Ｃ２と、通常遊技用（金玉コーナー）の主パチンコ島台となるパチンコ島台Ｃ３との間に、金玉貯留専用のベースタンクＫと銀玉貯留専用のベースタンクＧとを個別に設け、パチンコ島台Ｃ６，Ｃ７間に設けられたベースタンクＴ２を金玉貯留専用に用いることで、各ベースタンクＫ，Ｇ，Ｔ２内での金玉と銀玉との混在を回避することができる。この場合、パチンコ島台Ｃ１，Ｃ２で使用される銀玉は、必ず銀玉貯留専用のベースタンクＧに返却され、銀玉貯留専用のベースタンクＧからは、銀玉コーナーの主パチンコ島台Ｃ２にのみ供給されるようにする一方、パチンコ島台Ｃ３，Ｃ４で使用される金玉は、必ず金玉貯留専用のベースタンクＫに返却され、金玉貯留専用のベースタンクＫからは、金玉コーナーの主パチンコ島台Ｃ３にのみ供給されるようにする。

【０００８】

しかしながら、上記したような図９（Ｂ）に示す構成では、図９（Ａ）に示す従来（既存）の島交流式玉移送装置に対して大掛かりな改造を施す必要があり、莫大な改造費用が掛かってしまうという問題が生じる。具体的な改造内容としては、ベースタンクＴ１に換えて新たな玉搬送経路を有する２台のベースタンクＫ，Ｇを設置する必要がある。既存のベースタンクＴ１は、隣接する主パチンコ島台Ｃ２，Ｃ３にそれぞれパチンコ玉を供給するため、各パチンコ島台Ｃ２，Ｃ３に向けてパチンコ玉を搬送する樋部が底面部分に設け

られているが、新たに設置するベースタンクＫ，Ｇの底面には、隣接する主パチンコ島台Ｃ２，Ｃ３の一方にのみパチンコ玉を搬送する樋部を設ける必要があり、ベースタンク自体の設計を大幅に変更しなければならない。

【０００９】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、２種類のパチンコ玉を混在させることなく個々に循環使用するシステムを低コストで実現できる島交流式玉移送装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【００１０】

上記した目的を達成するために、請求項１の発明においては、多量のパチンコ玉を貯留するベースタンクとの間でパチンコ玉のやり取りを行う主パチンコ島台と、該主パチンコ島台との間でパチンコ玉のやり取りを行う従パチンコ島台と、から構成される島台ブロックを、前記ベースタンクを挟んで複数配置し、その複数の島台ブロックの各島台ブロックにおける前記ベースタンクと主パチンコ島台と従パチンコ島台との間で相互にパチンコ玉のやり取りを行う島交流式玉移送装置において、前記ベースタンクは、前記複数の島台ブロックのうち第一の島台ブロックを構成する第一の主パチンコ島台と、第二の島台ブロックを構成する第二の主パチンコ島台との間に配置されると共に、当該ベースタンクの玉貯留空間内には、該玉貯留空間を、前記第一の島台ブロックで使用される第一のパチンコ玉を貯留する第一の玉貯留空間と、前記第二の島台ブロックで使用される第二のパチンコ玉を貯留する第二の玉貯留空間と、に分割する仕切手段が設けられ、さらに前記ベースタンクは、前記玉貯留空間が直方体状に形成されると共に、該玉貯留空間の底面が当該ベースタンクの長手方向の両端からそれぞれ中央に向って下り傾斜して形成されるとともに、その中央傾斜底面に前記第一の玉貯留空間に貯留された前記第一のパチンコ玉を前記第一の主パチンコ島台に流入させる第一の流入樋と前記第二の玉貯留空間に貯留された前記第二のパチンコ玉を前記第二の主パチンコ島台に流入させる第二の流入樋とが連通され、前記仕切手段は、前記ベースタンクの長手方向のほぼ中央に当該ベースタンクの長手方向と直交するように配置されることで、前記第一の玉貯留空間に貯留される前記第一のパチンコ玉と前記第二の玉貯留空間に貯留される前記第二のパチンコ玉とが混在しないように前記玉貯留空間を前記第一の玉貯留空間と前記第二の玉貯留空間とに左右２分割することを特徴とする。

【００１１】

また、請求項２の発明においては、前記ベースタンクの前記中央傾斜底面には、該ベースタンクの長手方向と直交する方向の中央から両端に向かって個々に下り傾斜する前記第一の流入樋と連通する第一の樋部と前記第二の流入樋と連通する第二の樋部とが凹状に形成されていることを特徴とする。

【００１２】

更に、請求項３の発明においては、前記仕切手段は、前記第一樋部と前記第二樋部の凹状の深さ寸法とほぼ同じ寸法の流入樋仕切部を備え、該流入樋仕切部を前記第一の樋部と前記第二の樋部の境界部分に挿入した状態で前記玉貯留空間内に取り付けられていることを特徴とする。

【発明の効果】

【００１３】

請求項１の発明においては、第一の島台ブロックを構成する第一の主パチンコ島台と、第二の島台ブロックを構成する第二の主パチンコ島台との間に配置されるベースタンクの玉貯留空間内に仕切手段を設けることで、当該玉貯留空間を、第一の島台ブロックで使用される第一のパチンコ玉を貯留する第一の玉貯留空間と、第二の島台ブロックで使用される第二のパチンコ玉を貯留する第二の玉貯留空間とに分割する。そして、第一の玉貯留空間に貯留された第一のパチンコ玉は、第一の流入樋を介して第一の島台ブロックを構成する第一の従パチンコ島台に供給される。同様に、第二の玉貯留空間に貯留された第二のパチンコ玉は、第二の流入樋を介して第二の島台ブロックを構成する第二の従パチンコ島台

に供給される。これにより、既存の島交流式玉移送装置に対して大掛かりな改造を施すことなく、既存のベースタンクに仕切板を設けるという簡単な改造を施すだけで、２種類のパチンコ玉を混在させることなく個々に循環使用する島交流式玉移送装置を低コストで実現できる。また、長手方向の両端からそれぞれ中央に向って下り傾斜する底面を有して直方体状の玉貯留空間が形成されたベースタンクに対して、ベースタンクの長手方向のほぼ中央に当該ベースタンクの長手方向と直交するように仕切手段を取り付ける。これにより、第一及び第二の玉貯留空間を長細い空間とすることなく２分割できるので、第一の玉貯留空間内での第一のパチンコ玉の玉流れ、及び第二の玉貯留空間内での第二のパチンコ玉の玉流れに支障を来たすことなくスムーズにパチンコ玉を循環使用することができる。なお、長細い玉貯留空間とした場合では、玉貯留空間内のパチンコ玉を中央の第一及び第二の樋部に転動する傾斜底面の幅寸法が、パチンコ玉を転動する上で最適に設計された値よりも大幅に縮小されることになり、傾斜底面上でのパチンコ玉の玉流れに支障を来たす虞がある。

【００１４】

また、請求項２の発明においては、ベースタンクの中央傾斜底面に凹状に形成された第一及び第二の樋部が個々に連通する第一の玉貯留空間と第二の玉貯留空間とに左右２分割することにより、第一の玉貯留空間内での第一のパチンコ玉の玉流れ、及び第二の玉貯留空間内での第二のパチンコ玉の玉流れに支障を来たすことなく且つ２種類のパチンコ玉を混在させることなくスムーズにパチンコ玉を循環使用することができる。

【００１５】

更に、請求項３の発明においては、請求項２に係る発明と同様に、第一の玉貯留空間内での第一のパチンコ玉の玉流れ、及び第二の玉貯留空間内での第二のパチンコ玉の玉流れに支障を来たすことなく且つ２種類のパチンコ玉を混在させることなくスムーズにパチンコ玉を循環使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１６】

【図１】同図（Ａ）は複数のパチンコ島台とそれに関連して設けられるベースタンク及び交流樋との関係を示す側面から見た全体概略図であり、同図（Ｂ）は複数のパチンコ島台とそれに関連して設けられるベースタンク及び交流樋との関係を示す上面から見た全体概略図である。

【図２】パチンコ島台の内部構造を示す正面図である。

【図３】ベースタンクと該ベースタンクに隣接して設けられるパチンコ島台に設けられる上部タンク及び下部タンクを示す斜視図である。

【図４】ベースタンクと該ベースタンク内に取り付けられる仕切板とを示す分解斜視図である。

【図５】仕切板が取り付けられたベースタンクを示す斜視図である。

【図６】仕切板及び圧抜板が取り付けられたベースタンクを示す斜視図である。

【図７】同図（Ａ）はベースタンクと該ベースタンクに隣接するパチンコ島台との関係を示す側面から見た概略図であり、同図（Ｂ）は同図（Ａ）のＡ視平面図であり、同図（Ｃ）は同図（Ａ）のＢ視平面図であり、同図（Ｄ）は同図（Ｂ）のＣ方向からベースタンクを見た説明図であり、同図（Ｅ）は同図（Ｂ）のＤ方向からベースタンクを見た説明図である。

【図８】同図（Ａ）～（Ｄ）はそれぞれ圧抜板を取り付けないベースタンク内でのパチンコ玉の貯留状態を示す説明図であり、同図（Ｅ）～（Ｈ）はそれぞれ圧抜板を取り付けたベースタンク内でのパチンコ玉の貯留状態を示す説明図である。

【図９】同図（Ａ）は従来の島交流式玉移送装置を示す全体概略図であり、同図（Ｂ）は２種類のパチンコ玉を個々に循環使用するシステムに変更した従来の島交流式玉移送装置を示す全体概略図である。

【発明を実施するための形態】

【００１７】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。まず、図１乃至図８を参照して、本発明の実施形態について説明する。図１（Ａ）は、複数のパチンコ島台Ａ１～Ａ４とそれに関連して設けられるベースタンクＢ及び交流樋３ａ～３ｄとの関係を示す側面から見た全体概略図であり、図１（Ｂ）は、複数のパチンコ島台Ａ１～Ａ４とそれに関連して設けられるベースタンクＢ及び交流樋３ａ～３ｄとの関係を示す上面から見た全体概略図である。図２は、パチンコ島台Ａ１～Ａ４の内部構造を示す正面図である。図３は、ベースタンクＢと該ベースタンクＢに隣接して設けられるパチンコ島台Ａ３に設けられる上部タンク２２及び下部タンク１３を示す斜視図である。図４は、ベースタンクＢと該ベースタンクＢ内に取り付けられる仕切板３４とを示す分解斜視図である。図５は、仕切板３４が取り付けられたベースタンクＢを示す斜視図である。図６は、仕切板３４及び圧抜板４１，４２が取り付けられたベースタンクＢを示す斜視図である。図７（Ａ）は、ベースタンクＢと該ベースタンクＢに隣接するパチンコ島台Ａ２，Ａ３との関係を示す側面から見た概略図であり、図７（Ｂ）は、図７（Ａ）のＡ視平面図であり、図７（Ｃ）は、図７（Ａ）のＢ視平面図であり、図７（Ｄ）は、図７（Ｂ）のＣ方向からベースタンクＢを見た説明図であり、図７（Ｅ）は、図７（Ｂ）のＤ方向からベースタンクＢを見た説明図である。図８（Ａ）～（Ｄ）は、それぞれ圧抜板４１，４２を取り付けないベースタンクＢ内でのパチンコ玉の貯留状態を示す説明図であり、図８（Ｅ）～（Ｈ）は、それぞれ圧抜板４１，４２を取り付けたベースタンクＢ内でのパチンコ玉の貯留状態を示す説明図である。

【００１８】

まず、図１（Ａ），（Ｂ）において、遊技場に設置される複数のパチンコ島台Ａ１～Ａ４（遊技場によっては、それ以上又は以下のパチンコ島台が設置される）には、それぞれ内部に比較的少ないパチンコ玉を貯留する下部タンク１３（約２万個前後貯留できる）が内蔵され、その下部タンク１３に貯留されたパチンコ玉を玉揚送装置２１（図２参照）で上部タンク２２に揚送し、それぞれのパチンコ島台Ａ１～Ａ４に設置されるパチンコ機１０や玉貸機２４（共に図２参照）に玉を補給するようになっている。パチンコ機１０で使用されたパチンコ玉は、アウト玉回収樋１２（図２参照）に回収されて前記下部タンク１３に導かれ、再度玉揚送装置２１によって揚送される。これによってパチンコ玉がパチンコ島台Ａ１～Ａ４内を循環する。

【００１９】

但し、本実施形態では、貸玉料金が４円／個となる通常遊技用のパチンコ島台と、貸玉料金が１円／個となるイチパチ遊技用のパチンコ島台と、の２種類のパチンコ島台を設置するものであり、個々（通常遊技用とイチパチ遊技用）のパチンコ島台毎で使用するパチンコ玉の色を異ならせるようになっている。通常遊技用のパチンコ島台では、金色のパチンコ玉（以下、これを「金玉」ともいう）を使用する一方、イチパチ遊技用のパチンコ島台では、銀色のパチンコ玉（以下、これを「銀玉」ともいう）を使用する。このため、金玉は、通常遊技用の島台ブロックとなるパチンコ島台Ａ３，Ａ４間でのみ循環使用され、銀玉は、イチパチ遊技用の島台ブロックとなるパチンコ島台Ａ２，Ａ１間でのみ循環使用されるようになっている。

【００２０】

また、パチンコ島台Ａ１～Ａ４のうちの所定のパチンコ島台には、遊技客が獲得したパチンコ玉を返却するための玉返却装置５がその島端（必ずしも島端でなくてもよい、例えば、島中央）に設けられている（図２参照）。玉返却装置５によって返却されるパチンコ玉数が極めて多量になって当該パチンコ島台における最大貯留量を超えると玉揚送装置２１で揚送されたパチンコ玉は、上部タンク２２から返却樋４等を介して後に詳述するベースタンクＢに返却されるようになっている。なお、玉返却装置５は、通常遊技用の島台ブロックとなるパチンコ島台Ａ３，Ａ４と、イチパチ遊技用の島台ブロックとなるパチンコ島台Ａ２，Ａ１と、にそれぞれ専用（金玉用と銀玉用）のものが個別に設けられる。返却樋４は、後述する第１の島台ブロックを構成する対向位置のパチンコ島台Ａ２の上部タンク２２からベースタンクＢへ、後述する第２の島台ブロックを構成する対向位置のパチン

コ島台Ａ３の上部タンク２２からベースタンクＢへ向けて、それぞれ差し渡されている。
【００２１】
図示のパチンコ島台Ａ１～Ａ４においては、複数（本実施形態では、２つ）のパチンコ島台Ａ１，Ａ２とパチンコ島台Ａ３，Ａ４とをそれぞれ１つの島台ブロックとして考え、各島台ブロックの間に大型のベースタンクＢが設けられている。即ち、第１の島台ブロックであるパチンコ島台Ａ１，Ａ２と、第２の島台ブロックであるパチンコ島台Ａ３，Ａ４との間で、ベースタンクＢを挟んで対向する位置（以下、これを対向位置ともいう）にあるパチンコ島台Ａ２及びパチンコ島台Ａ３の間には、ベースタンクＢが配置されている。また、第１の島台ブロックを構成するパチンコ島台Ａ１，Ａ２は、前述した貸玉料金が１円／個となるイチパチ遊技用のパチンコ島台であり、当該パチンコ島台Ａ１，Ａ２間で銀玉が循環使用される。一方、第２の島台ブロックを構成するパチンコ島台Ａ３，Ａ４は、前述した貸玉料金が４円／個となる通常遊技用のパチンコ島台であり、当該パチンコ島台Ａ３，Ａ４間で金玉が循環使用される。
【００２２】
しかして、ベースタンクＢには、各島台ブロックで必要とされるパチンコ玉量を貯留し得るようになっており、例えば、１つのパチンコ島台に必要な玉量が５０万個であるとすれば、１つの島台ブロックを構成する２つのパチンコ島台Ａ１，Ａ２又はＡ３，Ａ４に必要なパチンコ玉量は、各々１００万個である。そして、ベースタンクＢは、第１の島台ブロックを構成するパチンコ島台Ａ１，Ａ２で必要なパチンコ玉である銀玉１００万個と、第２の島台ブロックを構成するパチンコ島台Ａ３，Ａ４で必要なパチンコ玉である金玉１００万個と、をそれぞれ貯留し得る容量を有するように構成されている。
【００２３】
また、上記した各島台ブロックに属する各パチンコ島台Ａ１，Ａ２又はＡ３，Ａ４には、玉量が不足したとき又は玉量が充満したときに各島台ブロック間にあるベースタンクＢから不足した玉を受け入れたり、ベースタンクＢに過剰の玉を送り出したりするようになっている。このため、第１の島台ブロックを構成する各パチンコ島台Ａ１，Ａ２間、第２の島台ブロックを構成する各パチンコ島台Ａ３，Ａ４間には、それぞれパチンコ玉のやり取りを行うための交流樋３ａ～３ｄが差し渡されている。具体的に、第１の島台ブロックを構成する各パチンコ島台Ａ１，Ａ２においては、パチンコ島台Ａ１の上部タンク２２からパチンコ島台Ａ２の上部タンク２２に向けて銀玉を送り込む交流樋３ａと、パチンコ島台Ａ２の上部タンク２２からパチンコ島台Ａ１の上部タンク２２に向けて銀玉を送り込む交流樋３ｂと、が設けられ、第２の島台ブロックを構成する各パチンコ島台Ａ３，Ａ４においては、パチンコ島台Ａ３の上部タンク２２からパチンコ島台Ａ４の上部タンク２２に向けて金玉を送り込む交流樋３ｃと、パチンコ島台Ａ４の上部タンク２２からパチンコ島台Ａ３の上部タンク２２に向けて金玉を送り込む交流樋３ｄと、が設けられている。
【００２４】
以上、複数のパチンコ島台Ａ１～Ａ４の関係についての概略を説明したが、上記のように複数のパチンコ島台を１つの島台ブロックとし、島台ブロックを構成する複数のパチンコ島台間及び複数の島台ブロックの間に配置されるベースタンクＢと該ベースタンクＢを挟む対向位置にあるパチンコ島台との間を、交流樋３ａ～３ｄ及び返却樋４でパチンコ玉の搬送を行う形式を島交流と呼んでいる。そこで、次に島交流形式のパチンコ島台及びベースタンクの構造について説明する。まず、パチンコ島台の構造について図２を参照して説明する。
【００２５】
図２において、各島台ブロックを構成する対向位置のパチンコ島台、言い換えればベースタンクＢを挟むパチンコ島台Ａ２，Ａ３（以下、これを「主パチンコ島台」ともいう）においては、前述したように、それぞれ内部に比較的少ないパチンコ玉を貯留する下部タンク１３が内蔵され、その下部タンク１３に貯留されたパチンコ玉を主パチンコ島台Ａ２，Ａ３のほぼ中央に立設される玉揚送装置２１で上部タンク２２に揚送し、主パチンコ島台Ａ２，Ａ３に設置されるパチンコ機１０や玉貸機２４に補給樋２３を介して玉を補給す

るようになっている。パチンコ機１０で使用されたパチンコ玉は、アウト玉箱１１を介してアウト玉回収樋１２に放出され、そのアウト玉回収樋１２に回収されて前記下部タンク１３に導かれた後に、再度玉揚送装置２１によって揚送される。これによってパチンコ玉が主パチンコ島台Ａ２，Ａ３内を循環する。

【００２６】

主パチンコ島台Ａ２，Ａ３に内蔵される下部タンク１３は、直方体状に形成され、その底面に玉揚送装置２１の導入樋１６に向かって下り傾斜する底板１４を有し、その内側上部に底板１４と反対方向に傾斜する上部誘導樋１５が設けられている。この上部誘導樋１５の上流部には、交流樋３ａ～３ｄから供給されたパチンコ玉が上部タンク２２を介して誘導され、その誘導されたパチンコ玉を上部誘導樋１５によって下部タンク１３の上流側に搬送するようになっている。また、下部タンク１３の上流側上部に流入口１８が開設されているが、この流入口１８は、ベースタンクＢから流入するパチンコ玉を受け入れるための開口であり、このため、ベースタンクＢと下部タンク１３との間には、流入口１８に接続される流入樋２０ａ，２０ｂ（図１（Ａ）参照）が差し渡されている。なお、ベースタンクＢからパチンコ玉を流入する流入口１８は、下部タンク１３の上流側上部に開設されることで、下部タンク１３の玉貯留空間を最大限に活用して下部タンク１３内にパチンコ玉を貯留し得る構成となっている。また、流入口１８が下部タンク１３の上流側になればなるほど、底板１４の高さ位置が高くなるため、流入口１８と底板１４との間の落差が小さくなり、流入口１８から落下するパチンコ玉の衝撃で底板１４が破損してしまう事態を軽減するようになっている。また、各ブロックを構成する対向位置以外のパチンコ島台、言い換えればベースタンクＢを挟まないパチンコ島台Ａ１，Ａ４（以下、これを従パチンコ島台ともいう）は、ベースタンクＢとの間で直接的にパチンコ玉のやり取りを行わないため、ベースタンクＢとの間で流入樋２０ａ，２０ｂが差し渡されることはなく、下部タンク１３にも流入口１８は設けられない。

【００２７】

また、下部タンク１３は、主パチンコ島台Ａ２，Ａ３のほぼ中央に立設される玉揚送装置２１の一側部位（図２において右側）に設置されているので、反対側に設置されたパチンコ機１０からのアウト玉を回収するアウト玉回収樋１２を流れるパチンコ玉を下部タンク１３に導くために該アウト玉回収樋１２と下部タンク１３との間に連絡樋１７が差し渡されている。この連絡樋１７の末端は、前記導入樋１６の接続位置のやや上部である。

【００２８】

上記した下部タンク１３に貯留されていたパチンコ玉は、導入樋１６により複数列に整列されて玉揚送装置２１の導入口に送り込まれる。玉揚送装置２１は、図示の実施形態の場合、モータ内蔵プーリによって旋回駆動される揚送ベルトと該揚送ベルトに対面して設けられ且つ揚送ベルトとの間にパチンコ玉を挟持しながら研摩する研摩布とを有し、前記導入樋１６から導かれたパチンコ玉を揚送ベルトの摩擦力によって研摩しながら上部に揚送するものである。玉揚送装置２１によって揚送されたパチンコ玉は、上部タンク２２に排出される。

【００２９】

上部タンク２２は、パチンコ玉をパチンコ機１０や玉貸機２４に補給するための補給樋２３、各パチンコ島台間でパチンコ玉をやり取りするための交流樋３ａ～３ｄ、あるいはパチンコ玉をベースタンクＢに返却するための返却樋４が接続されており、受け入れたパチンコ玉を補給樋２３、交流樋３ａ～３ｄ、あるいは返却樋４に振り分ける機能を有している。具体的に、第１の島台ブロックの主パチンコ島台Ａ２の上部タンク２２には、パチンコ玉（銀玉）をパチンコ機１０や玉貸機２４に補給するための補給樋２３と、第１の島台ブロックの従パチンコ島台Ａ１の上部タンク２２との間でパチンコ玉（銀玉）をやり取りするための交流樋３ａ，３ｂと、パチンコ玉（銀玉）をベースタンクＢ（詳しくは、後述する銀玉貯留空間３３ｂ）側へ誘導するための返却樋４と、が接続されている。また、従パチンコ島台Ａ１の上部タンク２２には、パチンコ玉（銀玉）をパチンコ機１０や玉貸機２４に補給するための補給樋２３と、主パチンコ島台Ａ２の上部タンク２２との間でパ

チンコ玉（銀玉）をやり取りするための交流樋３ａ，３ｂと、が接続されている。
【００３０】
一方、第２の島台ブロックの主パチンコ島台Ａ３の上部タンク２２には、パチンコ玉（金玉）をパチンコ機１０や玉貸機２４に補給するための補給樋２３と、第２の島台ブロックの従パチンコ島台Ａ４の上部タンク２２との間でパチンコ玉（金玉）をやり取りするための交流樋３ｃ，３ｄと、パチンコ玉（金玉）をベースタンクＢ（詳しくは、後述する金玉貯留空間３３ａ）側へ誘導するための返却樋４と、が接続されている。また、従パチンコ島台Ａ４の上部タンク２２には、パチンコ玉（金玉）をパチンコ機１０や玉貸機２４に補給するための補給樋２３と、主パチンコ島台Ａ３の上部タンク２２との間でパチンコ玉（金玉）をやり取りするための交流樋３ｃ，３ｄと、が接続されている。なお、主パチンコ島台Ａ２，Ａ３の上部タンク２２には、それぞれ当該上部タンク２２内のパチンコ玉を返却樋４を介してベースタンクＢ側へ流出するための流出口２２ａが開設されている（図３参照）。但し、従パチンコ島台Ａ１，Ａ４は、直接的にパチンコ玉をベースタンクＢ側へ流出することがない、言い換えれば、従パチンコ島台Ａ１，Ａ４の上部タンク２２には返却樋４が接続されないため、流出口２２ａは開設されない。
【００３１】
以上、島交流形式におけるパチンコ島台の構造について説明したが、次にこの島交流形式において重要な構成要素であるベースタンクＢについて、図３乃至図８を参照して説明する。ベースタンクＢは、図３に示すように、上面が開口した直方体状に合板又は金属板で形成され、その底板が中央に向かって下り傾斜している。即ち、横長方形状の上面開口３０を有するベースタンクＢは、長手方向における両端からそれぞれ中央に向って下り傾斜した左右一対の底板３１，３２を有しており、底板３１，３２の下流端部分となる中央傾斜底面には、ベースタンクＢの横幅方向（長手方向と直交する方向）の中央から両端に向って個々に下り傾斜した樋部３１ａ，３２ａが凹状に形成されている。一方の樋部３１ａは、ベースタンクＢを挟む主パチンコ島台のうち金玉を使用するパチンコ島台Ａ３の下部タンク１３（流入口１８）とベースタンクＢとの間で差し渡される流入樋２０ｂが接続される。一方、他方の樋部３２ａは、ベースタンクＢを挟む主パチンコ島台のうち銀玉を使用するパチンコ島台Ａ２の下部タンク１３（流入口１８）とベースタンクＢとの間で差し渡される流入樋２０ａが接続される。
【００３２】
ところで、本実施形態のベースタンクＢは、前述したように第１の島台ブロックを構成するパチンコ島台Ａ１，Ａ２で必要なパチンコ玉である銀玉と、第２の島台ブロックを構成するパチンコ島台Ａ３，Ａ４で必要なパチンコ玉である金玉と、をそれぞれ貯留し得る構成となっているが、このような銀玉及び金玉は、それぞれ使用されるパチンコ島台（島台ブロック）が異なるため、ベースタンクＢ内で混在することなく個別に分けて貯留する必要がある。このため、本実施形態では、ベースタンクＢの玉貯留空間３３内に仕切板３４を設けることで、第２の島台ブロック（パチンコ島台Ａ３，Ａ４）で使用される金玉を貯留するための金玉貯留空間３３ａと、第１の島台ブロック（パチンコ島台Ａ１，Ａ２）で使用される銀玉を貯留するための銀玉貯留空間３３ｂと、に玉貯留空間３３内を２分割している。具体的に、仕切板３４は、図４に示すように、ベースタンクＢの中央傾斜底面部における玉貯留空間３３の高さ寸法とほぼ同一の高さ寸法に形成されてベースタンクＢの長手方向と平行状に配置された基板部３５と、該基板部３５の両側端から個々に折曲して装着時にベースタンクＢの横幅方向側壁内側に当接する位置まで延設される第１及び第２の折曲板部３６，３７と、基板部３５の下側中央から下方に向かって凸状に突設される流入樋仕切部３８と、を備えている。第１及び第２の折曲板部３６，３７は、それぞれ基板部３５の各側端から相互に反対方向へ直角に折れ曲った状態で形成されると共に、玉貯留空間３３の横幅寸法のほぼ半分の長さ寸法（延設寸法）と基板部３５とほぼ同一の高さ寸法を有して形成されている。また、流入樋仕切部３８は、凹状の樋部３１ａ，３２ａの高さ寸法とほぼ同一の長さ寸法（突設寸法）に形成されている。
【００３３】

しかして、仕切板３４は、図５に示すように、ベースタンクＢの横幅方向の両端に向って個々に下り傾斜した各樋部３１ａ，３２ａの境界部分に流入樋仕切部３８が挿入された状態で玉貯留空間３３内に取り付けられ、この状態で、第１の折曲板部３６は、樋部３２ａの側方位置となる底板３１上にベースタンクＢの横幅方向の一方の側壁内側に当接するように配される一方、第２の折曲板部３７は、樋部３１ａの側方位置となる底板３２上にベースタンクＢの横幅方向の他方の側壁内側に当接するように配される。これにより、仕切板３４は、底板３１を空間底面とすると共に空間内に樋部３１ａを連通させた金玉貯留空間３３ａと、底板３２を空間底面とすると共に空間内に樋部３２ａを連通させた銀玉貯留空間３３ｂと、に玉貯留空間３３内を２分割する。なお、本実施形態の構成によれば、仕切板３４と流入樋仕切部３８とが一体的に構成されているが、貯留空間を２分割できればよく、例えば、仕切板３４と流入樋仕切部３８とを別体にし、該流入樋仕切部３８が各樋部３１ａ、３２ａの境界部分を完全に塞ぐように取り付けた後、仕切板３４を取り付けるようにしてもよい。このような構成を用いる場合は、流入樋仕切部３８の上面に仕切板３４の装着をガイドするガイド溝を設けるとよい、そのようにすることで、仕切板３４の取付位置を容易に把握することができる。

【００３４】

また、図６に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂには、各貯留空間３３ａ，３３ｂ間で生じるパチンコ玉による圧力差によって仕切板３４が破損することを回避するための一対の圧抜板４１，４２がそれぞれ取り付けられている。一方の圧抜板４１は、仕切板３４を構成する第１の折曲板部３６と隣接する位置にベースタンクＢの横幅方向に差し渡された状態で取り付けられ、その下端は、金玉貯留空間３３ａの空間底面をなす底板３１から所定間隔空けた位置に配される。同様に、他方の圧抜板４２は、仕切板３４を構成する第２の折曲板部３７と隣接する位置にベースタンクＢの横幅方向に差し渡された状態で取り付けられ、その下端は、銀玉貯留空間３３ｂの空間底面をなす底板３２から所定間隔空けた位置に配される。なお、圧抜板４１，４２の作用については後で詳述する。

【００３５】

更に、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂには、それぞれ玉受板４３，４４が設けられている。玉受板４３，４４は、それぞれベースタンクＢの長手方向に沿って伸びる長板形状に形成されると共に、その中央部分を頂点としてベースタンクＢの長手方向の両側端に向って個々に下り傾斜した山型形状に形成されている。一方の玉受板４３は、金玉貯留空間３３ａを構成するベースタンクＢ内壁の上側部分に釘やボルト等の固着手段で固着され、他方の玉受板４４も、銀玉貯留空間３３ｂを構成するベースタンクＢ内壁の上側部分に釘やボルト等の固着手段で固着されている。

【００３６】

また、ベースタンクＢの上面開口３０において、玉受板４３の山型形状の頂点部分と対向する部位には、図１及び図３に示すように、返却樋４を介して主パチンコ島台Ａ３の上部タンク２２と連通する導入樋４５の玉排出口４５ａが配され、玉受板４４の山型形状の頂点部分と対向する部位には、図１及び図７に示すように、返却樋４及び各誘導樋４６，４７を介して主パチンコ島台Ａ２の上部タンク２２と連通する導入樋４８の玉排出口４８ａが配されている。

【００３７】

次に、上記したベースタンクＢと、該ベースタンクＢを挟む主パチンコ島台（パチンコ島台Ａ２，Ａ３）との間でのパチンコ玉のやり取りについて、図７を参照して説明する。なお、主パチンコ島台（パチンコ島台Ａ２，Ａ３）に設けられる上部タンク２２は、自島における各パチンコ機１０へのパチンコ玉の補給を最優先に行い、その補給が必要なくなったときに交流樋３ｂ，３ｃを介して従パチンコ島台（パチンコ島台Ａ１，Ａ４）へパチンコ玉を誘導し、さらにその誘導が必要なくなったときに余剰のパチンコ玉をベースタンクＢに返却するように構成されている。

【００３８】

まず、貸玉料金が１円／個となるイチパチ遊技用の主パチンコ島台（パチンコ島台Ａ２）とベースタンクＢとの間でのパチンコ玉（銀玉）のやり取りについて説明する。主パチンコ島台Ａ２からベースタンクＢへ銀玉を返却する際には、図７（Ｂ）に示すように、主パチンコ島台Ａ２の上部タンク２２から返却樋４を介してベースタンクＢ上に設けられた誘導樋４６に銀玉を送り込む。誘導樋４６に送り込まれた銀玉は、誘導樋４７を通って導入樋４８に導かれ、その後、図７（Ｄ）に示すように、導入樋４８の玉排出口４８ａから玉受板４４上に排出される。これにより、玉受板４４上に排出された銀玉は、玉受板４４によってその落下速度が軽減されると共に、山型形状に傾斜した玉受板４４上で左右に振り分けられてベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂ内に送り込まれる。また、銀玉貯留空間３３ｂ内に送り込まれた銀玉は、図７（Ｃ）に示すように、銀玉貯留空間３３ｂの底面を構成する底板３２上を転動してベースタンクＢの長手方向の中央側（流入樋２０ａが連通された樋部３２ａ側）へ誘導される。そして、主パチンコ島台Ａ２の下部タンク１３内に充分な銀玉が貯留されている場合は、流入樋２０ａを介したベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂから主パチンコ島台Ａ２の下部タンク１３への銀玉の補給が停止されることで、余剰の銀玉がベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂ内に貯留される。一方、主パチンコ島台Ａ２の下部タンク１３内に貯留される銀玉が不足している場合は、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂ内に貯留されている銀玉が流入樋２０ａを介して主パチンコ島台Ａ２の下部タンク１３に補給される。

【００３９】

次に、貸玉料金が４円／個となる通常遊技用の主パチンコ島台（パチンコ島台Ａ３）とベースタンクＢとの間でのパチンコ玉（金玉）のやり取りについて説明する。主パチンコ島台Ａ３からベースタンクＢへ金玉を返却する際には、図７（Ｂ）に示すように、主パチンコ島台Ａ３の上部タンク２２から返却樋４を介してベースタンクＢ上に設けられた導入樋４５に金玉を送り込む。導入樋４５に送り込まれた金玉は、図７（Ｅ）に示すように、導入樋４５の玉排出口４５ａから玉受板４３上に排出される。これにより、玉受板４３上に排出された金玉は、玉受板４４上に排出される銀玉と同様に、玉受板４３によってその落下速度が軽減されると共に、山型形状に傾斜した玉受板４３上で左右に振り分けられてベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ内に送り込まれる。また、金玉貯留空間３３ａ内に送り込まれた金玉は、図７（Ｃ）に示すように、金玉貯留空間３３ａの底面を構成する底板３１上を転動してベースタンクＢの長手方向の中央側（流入樋２０ｂが連通された樋部３１ａ側）へ誘導される。そして、主パチンコ島台Ａ３の下部タンク１３内に充分な金玉が貯留されている場合は、流入樋２０ｂを介したベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａから主パチンコ島台Ａ３の下部タンク１３への金玉の補給が停止されることで、余剰の金玉がベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ内に貯留される。一方、主パチンコ島台Ａ３の下部タンク１３内に貯留される金玉が不足している場合は、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ内に貯留されている金玉が流入樋２０ｂを介して主パチンコ島台Ａ３の下部タンク１３に補給される。

【００４０】

ところで、上記したベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂにパチンコ玉を貯留する際、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内で貯留するパチンコ玉の貯留量に大差が生じるような場合には、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間でパチンコ玉による大きな圧力差が生じるものである。そして、このような大きな圧力差が生じた場合、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂを分割する仕切板３４に破損が生じる虞がある。そこで、本実施形態では、ベースタンクＢの左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内にそれぞれ圧抜板４１，４２を設けることで、このような大きな圧力差によって仕切板３４に破損が生じることを回避するようになっている。以下、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内に設けられた圧抜板４１，４２の作用について図８を参照して説明する。

【００４１】

まず、ベースタンクＢの左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内に圧抜板４１，４２を設けない構成について説明する。図８（Ａ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３

ａに少ない量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂにも金玉の貯留量とほぼ同等の少ない量の銀玉が貯留された場合では、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、それぞれ小さなものとなる。このとき、金玉が仕切板３４を押す圧力と銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、ほぼ同等となり殆ど圧力差が生じることがなく、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が保たれることで仕切板３４に破損が生じる虞はない。

【００４２】

また、図８（Ｂ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに多い量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂに少ない量の銀玉が貯留された場合では、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力は大きなものとなる一方、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力は小さなものとなる。このとき、金玉が仕切板３４を押す圧力と銀玉が仕切板３４を押す圧力との間では大きな圧力差が生じることになり、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が崩れて金玉貯留空間３３ａ内の金玉が一方的に仕切板３４を押圧することで仕切板３４に破損が生じ易くなる。

【００４３】

また、図８（Ｃ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに少ない量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂに多い量の銀玉が貯留された場合では、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力は小さなものとなる一方、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力は大きなものとなる。このとき、金玉が仕切板３４を押す圧力と銀玉が仕切板３４を押す圧力との間では大きな圧力差が生じることになり、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が崩れて銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が一方的に仕切板３４を押圧することで仕切板３４に破損が生じ易くなる。

【００４４】

また、図８（Ｄ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに多い量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂにも金玉の貯留量とほぼ同等の多い量の銀玉が貯留された場合では、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、それぞれ大きなものとなる。但し、この場合、図８（Ａ）に示した状態と同様に、金玉が仕切板３４を押す圧力と銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、ほぼ同等となり殆ど圧力差が生じることがないので、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が保たれて仕切板３４に破損が生じる虞はない。

【００４５】

即ち、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内に圧抜板４１，４２を設けない構成では、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内でのパチンコ玉の貯留量の大小に関わらず、金玉貯留空間３３ａに貯留される金玉の貯留量と銀玉貯留空間３３ｂに貯留される銀玉の貯留量とがほぼ同等となる場合、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で圧力差が生じることがないので仕切板３４に破損が生じる虞はない。しかしながら、金玉貯留空間３３ａに貯留される金玉の貯留量と銀玉貯留空間３３ｂに貯留される銀玉の貯留量との間で相当な差が生じるような場合には、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で大きな圧力差が生じることになるので、貯留量の多い側のパチンコ玉が一方的に仕切板３４を押圧することになり、結果として仕切板３４に破損が生じ易くなる。

【００４６】

次に、ベースタンクＢの各貯留空間３３ａ，３３ｂ内に圧抜板４１，４２を設けた本実施形態の構成について説明する。図８（Ｅ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに少ない量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂにも金玉の貯留量とほぼ同等の少ない量の銀玉が貯留された場合、具体的に、金玉貯留空間３３ａにおいては底板３１から圧抜板４１の下端までの高さで金玉が貯留される一方、銀玉貯留空間３３ｂにおいては底板３２から圧抜板４２の下端までの高さで銀玉が貯留された場合、底板３１から圧抜板４１の下端までの高さにある金玉は、圧抜板４１を押圧することなく仕切板３４を押圧する。一方、底板３２から圧抜板４２の下端までの高さにある銀

玉についても同様に、圧抜板４２を押圧することなく仕切板３４を押圧する。即ち、図８（Ｅ）に示す状態は、圧抜板４１，４２が作用することなく、前記図８（Ａ）に示した状態と同様に、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、それぞれ小さなものとなる。このとき、金玉が仕切板３４を押す圧力と銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、ほぼ同等となり殆ど圧力差が生じることがなく、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が保たれることで仕切板３４に破損が生じる虞はない。なお、底板３１から圧抜板４１の下端までの高さにある金玉の貯留量、及び底板３２から圧抜板４２の下端までの高さにある銀玉の貯留量は、パチンコ玉の圧力が仕切板３４にかかっても当該仕切板３４が破損することのない程度の量（所定の貯留量）に設定されている。

【００４７】

また、図８（Ｆ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに多い量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂに少ない量の銀玉が貯留された場合、具体的に、金玉貯留空間３３ａにおいては底板３１から圧抜板４１の上側部分までの高さで金玉が貯留される一方、銀玉貯留空間３３ｂにおいては底板３２から圧抜板４２の下端までの高さで銀玉が貯留された場合、金玉貯留空間３３ａ内においては、底板３１から圧抜板４１の下端までの高さにある金玉は仕切板３４を押圧し、圧抜板４１の下端以上の高さにある金玉は圧抜板４１を押圧する。一方、銀玉貯留空間３３ｂ内においては、前記図８（Ｅ）に示した状態と同様に、底板３２から圧抜板４２の下端までの高さにある銀玉は、圧抜板４２を押圧することなく仕切板３４を押圧する。これにより、金玉貯留空間３３ａ内の圧抜板４１は、圧抜板４１の下端以上の高さにある金玉の圧力を受け止め、当該圧力が仕切板３４にかからないように作用する。そして、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、それぞれほぼ同等の小さなものとなり殆ど圧力差が生じることがないので、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が保たれて仕切板３４に破損が生じる虞がなくなる。

【００４８】

また、図８（Ｇ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに少ない量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂに多い量の銀玉が貯留された場合、具体的に、金玉貯留空間３３ａにおいては底板３１から圧抜板４１の下端までの高さで金玉が貯留される一方、銀玉貯留空間３３ｂにおいては底板３２から圧抜板４２の上側部分までの高さで銀玉が貯留された場合、金玉貯留空間３３ａ内においては、前記図８（Ｅ）に示した状態と同様に、底板３１から圧抜板４１の下端までの高さにある金玉は、圧抜板４１を押圧することなく仕切板３４を押圧する。一方、銀玉貯留空間３３ｂ内においては、底板３２から圧抜板４２の下端までの高さにある銀玉は仕切板３４を押圧し、圧抜板４２の下端以上の高さにある銀玉は圧抜板４２を押圧する。これにより、銀玉貯留空間３３ｂ内の圧抜板４２は、圧抜板４２の下端以上の高さにある銀玉の圧力を受け止め、当該圧力が仕切板３４にかからないように作用する。そして、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、それぞれほぼ同等の小さなものとなり殆ど圧力差が生じることがないので、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が保たれて仕切板３４に破損が生じる虞がなくなる。

【００４９】

また、図８（Ｈ）に示すように、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに多い量の金玉が貯留される一方、ベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂに多い量の銀玉が貯留された場合、具体的に、金玉貯留空間３３ａにおいては底板３１から圧抜板４１の上側部分までの高さで金玉が貯留される一方、銀玉貯留空間３３ｂにおいても同様に、底板３２から圧抜板４２の上側部分までの高さで銀玉が貯留された場合、金玉貯留空間３３ａ内においては、前記図８（Ｆ）に示した状態と同様に、底板３１から圧抜板４１の下端までの高さにある金玉は仕切板３４を押圧し、圧抜板４１の下端以上の高さにある金玉は圧抜板４１を押圧する。一方、銀玉貯留空間３３ｂ内においては、前記図８（Ｇ）に示した状態と同様に、底板３２から圧抜板４２の下端までの高さにある銀玉は仕切板３４を押圧し、圧抜板４

２の下端以上の高さにある銀玉は圧抜板４２を押圧する。これにより、金玉貯留空間３３ａ内の圧抜板４１は、圧抜板４１の下端以上の高さにある金玉の圧力を受け止め、当該圧力が仕切板３４にかからないように作用し、また、銀玉貯留空間３３ｂ内の圧抜板４２は、圧抜板４２の下端以上の高さにある銀玉の圧力を受け止め、当該圧力が仕切板３４にかからないように作用する。そして、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とは、それぞれほぼ同等の小さなものとなり殆ど圧力差が生じることがないので、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡が保たれて仕切板３４に破損が生じる虞がなくなる。

【００５０】

即ち、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ内に圧抜板４１，４２を設けた本実施形態の構成では、金玉貯留空間３３ａ内に大量の金玉が貯留された場合、金玉貯留空間３３ａ内に設けられた圧抜板４１は、該圧抜板４１の下端以上の高さにある金玉の圧力を受け止め、当該圧力が仕切板３４にかからないように作用する。また、銀玉貯留空間３３ｂ内に大量の銀玉が貯留された場合、銀玉貯留空間３３ｂ内に設けられた圧抜板４２は、該圧抜板４２の下端以上の高さにある銀玉の圧力を受け止め、当該圧力が仕切板３４にかからないように作用する。これにより、金玉貯留空間３３ａに貯留される金玉の貯留量と銀玉貯留空間３３ｂに貯留される銀玉の貯留量との間で相当な差が生じるような場合でも、金玉貯留空間３３ａ内の金玉が仕切板３４を押す圧力と、銀玉貯留空間３３ｂ内の銀玉が仕切板３４を押す圧力とをほぼ同等の小さなものとして圧力差が殆ど生じないようにすることで、左右の貯留空間３３ａ，３３ｂ間で均衡を保ち仕切板３４に破損が生じないようにしている。

【００５１】

以上のように、本実施形態の構成によれば、第一の島台ブロックを構成する主パチンコ島台Ａ２（第一の主パチンコ島台）と、第二の島台ブロックを構成する主パチンコ島台Ａ３（第二の主パチンコ島台）との間に配置されるベースタンクＢの玉貯留空間３３内に仕切板３４を設けることで、当該玉貯留空間３３を、第一の島台ブロックで使用される銀玉（第一のパチンコ玉）を貯留する銀玉貯留空間３３ｂ（第一の玉貯留空間）と、第二の島台ブロックで使用される金玉（第二のパチンコ玉）を貯留する金玉貯留空間３３ａ（第二の玉貯留空間）と、に分割する。そして、銀玉貯留空間３３ｂに貯留された銀玉は、流入樋２０ａ（第一の流入樋）を介して主パチンコ島台Ａ２の下部タンク１３（第一の下部タンク）に供給されると共に、該下部タンク１３から交流樋３ｂ（第一の供給樋）を介して第一の島台ブロックを構成する従パチンコ島台Ａ１（第一の従パチンコ島台）に供給される。その後、主パチンコ島台Ａ２又は従パチンコ島台Ａ１で溢れた銀玉は、主パチンコ島台Ａ２の上部タンク２２（第一の上部タンク）から返却樋４（第一の返却樋）を介してベースタンクＢの銀玉貯留空間３３ｂに返却される。同様に、金玉貯留空間３３ａに貯留された金玉は、流入樋２０ｂ（第二の流入樋）を介して主パチンコ島台Ａ３の下部タンク１３（第二の下部タンク）に供給されると共に、該下部タンク１３から交流樋３ｃ（第二の供給樋）を介して第二の島台ブロックを構成する従パチンコ島台Ａ４（第二の従パチンコ島台）に供給される。その後、主パチンコ島台Ａ３又は従パチンコ島台Ａ４で溢れた金玉は、主パチンコ島台Ａ３の上部タンク２２（第二の上部タンク）から返却樋４（第二の返却樋）を介してベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａに返却される。これにより、既存の島交流式玉移送装置に対して大掛かりな改造を施すことなく、既存のベースタンクＢに仕切板３４を設けるという簡単な改造を施すだけで、２種類のパチンコ玉（金玉と銀玉）を混在させることなく個々に循環使用する島交流式玉移送装置を低コストで実現できる。

【００５２】

また、ベースタンクＢの金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂ内にそれぞれ圧抜板４１（第二の圧抜板）及び圧抜板４２（第一の圧抜板）を設け、各玉貯留空間３３ａ，３３ｂに所定の貯留量以上のパチンコ玉が貯留された場合、該所定の貯留量を上回る分の貯留量のパチンコ玉の圧力が仕切板３４にかからないようにしている。これにより、金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂ内にそれぞれ所定の貯留量以上のパチンコ玉が貯

留されるような場合でも、銀玉貯留空間３３ｂに貯留された銀玉が仕切板３４を押圧する圧力と、金玉貯留空間３３ａに貯留された金玉が仕切板３４を押圧する圧力とをほぼ同等（所定の貯留量のパチンコ玉の圧力）にして、各玉貯留空間３３ａ，３３ｂ間で殆ど圧力差が生じないようにすることができる。また、パチンコ玉の圧力が仕切板３４にかかっても当該仕切板３４が破損することのない程度の量に所定の貯留量を設定している。従って、金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂ内に貯留されるパチンコ玉の圧力によって仕切板３４が破損することを回避することができる。

【００５３】

更に、長手方向の両端からそれぞれ中央に向って下り傾斜する底面３１，３２を有して直方体状の玉貯留空間３３が形成されたベースタンクＢに対して、ベースタンクＢの長手方向のほぼ中央に仕切板３４を取り付けることで、ベースタンクＢの中央傾斜底面に形成された樋部３２ａ（第一の樋部）及び樋部３１ａ（第二の樋部）が個々に連通する銀玉貯留空間３３ｂと金玉貯留空間３３ａとに左右２分割している。これにより、金玉貯留空間３３ａ及び銀玉貯留空間３３ｂを長細い空間とすることなく２分割できるので、銀玉貯留空間３３ｂ内での銀玉の玉流れ、及び金玉貯留空間３３ａ内での金玉の玉流れに支障を来たすことなくスムーズにパチンコ玉を循環使用することができる。なお、長細い玉貯留空間とした場合では、玉貯留空間３３内のパチンコ玉を中央の樋部３１ａ，３２ａに転動する傾斜状の底面３１，３２の幅寸法が、パチンコ玉を転動する上で最適に設計された値よりも大幅に縮小されることになり、底面３１，３２上でのパチンコ玉の玉流れに支障を来たす虞がある。

【００５４】

なお、上記した実施形態では、４つのパチンコ島台Ａ１～Ａ４を列設して主パチンコ島台Ａ２，Ａ３間にベースタンクＢを１つ設けたものを示したが、列設されるパチンコ島台及びベースタンクの数は、実施形態中の構成に限定するものではない。但し、ベースタンクを挟む左右の主パチンコ島台でそれぞれ使用するパチンコ玉の種類が同一となる場合には、当該ベースタンクに本発明に係る仕切板を設ける必要はなく（玉貯留空間を第一及び第二の玉貯留空間に２分割する必要はなく）、ベースタンクを挟む左右の主パチンコ島台でそれぞれ使用するパチンコ玉の種類が異なる場合には、本発明に係る仕切板によって当該ベースタンクの玉貯留空間を第一及び第二の玉貯留空間に２分割する必要がある。なお、遊技場が営業を行っていない状態において、２分割された各玉貯留空間に貯留されているパチンコ玉の高さがほぼ同じとなるように、仕切板の取り付け位置を調整して仕切るとよい。そのようにすることで、非営業時における仕切板の負担を最低限に抑えることができる。

【符号の説明】

【００５５】

Ａ１　パチンコ島台（第一の従パチンコ島台）
Ａ２　パチンコ島台（第一の主パチンコ島台）
Ａ３　パチンコ島台（第二の主パチンコ島台）
Ａ４　パチンコ島台（第二の従パチンコ島台）
Ｂ　ベースタンク
３ａ，３ｄ　交流樋
３ｂ　交流樋（第一の供給樋）
３ｃ　交流樋（第二の供給樋）
４　返却樋
５　玉返却装置
１０　パチンコ機
１２　アウト玉回収樋
１３　下部タンク
２０ａ　流入樋（第一の流入樋）
２０ｂ　流入樋（第二の流入樋）

２１　玉揚送装置
２２　上部タンク
２３　補給樋
２４　玉貸機
３１，３２　底面
３１ａ　樋部（第二の樋部）
３２ａ　樋部（第一の樋部）
３３　玉貯留空間
３３ａ　金玉貯留空間（第二の玉貯留空間）
３３ｂ　銀玉貯留空間（第一の玉貯留空間）
３４　仕切板
４１　圧抜板（第二の圧抜板）
４２　圧抜板（第一の圧抜板）